

2024 1/14 sun

# 災害伝承「語り継ぎ」探究サロン

Special in 原子力災害伝承館

## 「福島で語る、阪神・淡路大震災」

語り部：米山未来さん

日時：2024年（令和6年）1月14日（日） 13:30～15:45

第1部：13:30-14:30 阪神・淡路大震災について：米山未来さんの語り

第2部：15:00-15:45 福島と兵庫、語り部交流トーク：米山さんと伝承館の語り部

東日本大震災・**伝承館**  
原子力災害

会場：東日本大震災・原子力災害伝承館 研修室

阪神・淡路大震災の語り部として  
活動を始めた米山未来さん



阪神・淡路大震災を伝えるパネル展の開催に合わせ、1995年に起きた大震災について知っていただき、また、阪神・淡路大震災の語り部活動に触れ、福島における語り継ぎについての考察も深めていただく機会とします。

**参加無料**

対象：どなたでもご参加いただけます。

原子力災害伝承館のスタッフのための研修プログラムとしても行います。

募集定員：90名 申込締切：1月13日（土）17:00まで

参加方法：フォームよりお申し込みください。

>>> <https://e-ve.event-form.jp/event/68525/katari> >>>



### プログラム

#### 第1部：13:30-14:30 阪神・淡路大震災について：米山未来さんの語り

淡路島出身。阪神・淡路大震災の時、生後2ヶ月だった米山さん。大人になってから、自らが語り部となることを決意し、今、その方法を模索しながら活動中。そんな米山さんのお話しに耳を傾けてみてください。

#### 第2部：15:00-15:45 福島と兵庫、語り部交流トーク：米山さんと伝承館の語り部

1995 阪神・淡路大震災と、2011 東日本大震災（原子力災害）。それぞれに震災伝承のために活動する語り部の姿があります。双方の語り部が交流し、他の災害、他者の事例に学びながら、これからの伝承活動において大切なことは何であるか、考察を深めます。

交流トークゲスト：原子力災害伝承館職員 遠藤美来さん、横山和佳奈さん

進行：平林英二（人と防災未来センター企画ディレクター）

#### プロフィール：米山未来（こめやまみく）

兵庫県淡路市（旧北淡町）出身。生後2ヶ月の時、阪神・淡路大震災。大学卒業後から一般企業に就職し、現在に至る。神奈川県に在住。関東の大学に在学中、周年となる1月17日当日ですら、周りの学生もマスメディアも、阪神・淡路大震災についての振り返り・扱いが、兵庫県でのそれまでの経験に比べて、あまりに薄いことを知り、ショックを受けるとともに、何かしなければ考えるようになる。社会人になった5年前、その年の夏から、自ら「語り部」としての活動を開始。現在まで「ライブ配信」というスタイルでの活動を約20回行ってきた。インフルエンサー的指向での「語り部」の活動を模索して現在も挑戦中。

共催・お問い合わせ：

東日本大震災・原子力災害伝承館

〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39  
TEL：0240-23-4402

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2  
TEL：078-262-5050（観覧案内）

令和6年能登半島地震に被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

本告知は、昨年から予定していた内容のまま記しておりますが、今回の災害発生を受け、当日実施内容にアレンジを加えさせていただきます。

東日本大震災・**伝承館**  
原子力災害



阪神・淡路大震災記念  
**人と防災未来センター**